

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	結婚支援アドバイザー設置事業	会計	一般会計	事業No.	134	施策順No.	37-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-1-1-14-3		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	福祉課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	22	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民 補助金支出先: 飯田市社会福祉協議会						A十分達成した Bどちらかといえれば達成した Cどちらかといえればできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人) (H22.10.1推計人口)	107259	106630	105691	105036	105036	
	意図	結婚希望者に対し紹介や仲介のみならず、様々な角度から支援することにより結婚を成立させる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	マッチングや出会いイベントによるカップル成立数(組)				30	48	30	A
	相談やイベント参加による結婚成立人数(人)				10	19	10	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	新たに設置した結婚支援アドバイザーにより、相談やイベントを実施し、カップル成立や結婚の成立につながった							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	結婚相談機能を強化するため結婚支援アドバイザーを設置する。相談しやすい環境を整備するために、平日昼間の業務時間内であればいつでも相談を受けられる窓口を設置、出会いの場創造のみならず、相談者を様々な角度から結婚を支援する事業の開催、地域における結婚相談事業の支援を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 結婚相談一月～金曜日(祝日を除く) 2 結婚支援事業の実施 3 地域における結婚相談事業の支援ー全地区交流会	1 結婚相談件数 2 結婚支援事業開催数 3 全地区交流会開催数	1 100件 2 9回 3 1回
23年度実施計画	1 結婚相談一月～金曜日(祝日を除く) 2 結婚支援事業の実施 3 地域における結婚相談事業の支援ー全地区交流会	1 結婚相談件数 2 結婚支援事業開催数 3 全地区交流会開催数	1 200件 2 6回 3 2回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)緊急雇用創出事業補助金
	国庫支出金					
	県支出金		3,425	3,425		
	起債					
	その他					
一般財源					3,475	
計(A)		3,425	3,425	3,475		
正規職員所要時間				50		
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)				179		
トータルコスト A+B				3,604		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを生み育てやすい環境の充実	施策の成果指標又はムトス指標
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	結婚を希望する方に対し、出会いのイベントや相談を実施することで、次世代育成につながる結婚支援を行っている。	
	後期に向けた課題	引き続き、結婚を支援し、子どもを生み育てやすい環境を充実させる。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	女性の登録者数、イベント参加数を増やすため、女性を意識した事業を行っている。	
	後期に向けた課題	引き続き、参加者や相談者が大勢集まるよう工夫を行っていく。	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	イベント等を業者等に外注せずに、アドバイザーが企画・運営を行うことで経費節減につながっている。	
	後期に向けた課題	相談者等にもイベントの実行委員を担ってもらうなどのあらたな取り組みも検討が必要である。	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	相談に対して費用を求めるものではない。イベント等参加者は参加費を負担している。	
	後期に向けた課題	引き続き、相談しやすい環境を整備し、イベント等参加者には一定の負担をお願いする必要がある。	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	結婚支援アドバイザー設置事業を社会福祉協議会に委託している。結婚相談員は各地区より選出されている。	
	後期に向けた課題	結婚に関する各地区のイベントとの連携が必要である。相談者が実行委員になるなどの工夫が求められる。	
全体を通じて	4年間の振り返り	今年度から設置された結婚支援アドバイザーにより、結婚支援の取り組みに大きな成果があらわれている。	
	後期に向けた課題	今後は、主催の事業だけでなく、各地区での事業等とも連携をし、より効率的な取り組みを検討している。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--